

夏休みの教室記録 大阪

8月7日（木）

雲が少々あるが、暑い大阪で7年目の経済教室が開催され、108名の先生方が参加されました。

1 時間目 「教科書の比較から教材研究のヒントをゲット」

講師は、筑波大学附属中学の升野伸子先生と、東洋大学の栗原久先生です。内容は、名古屋会場での話をベースにしているので、そちらを参照してください。

2 時間目 野間敏克先生「中学教科書で読み解く＜アベノミックス＞」

野間先生の講義も名古屋での講義をベースにしているので、内容はそちらをご覧ください。

質疑

1 気になるのは第一の矢の行方である。日銀はお金を出しているが、それが世のなかに回っていない、どこにいったのか？

A：市中銀行の日銀当座預金口座にある。企業が貸してくれと言いだせば世の中にでてゆく。また、出口をいつやるかも問題。

2 アベノミックスの本音は円安誘導による大企業救済ではないか？

A：円安でたしかに大企業は儲かったように見えるが、輸出数量は変わっていないので円安誘導だけとはいえない。

3 弱者にとってインフレは困るので、アベノミックスには疑問をもっているが？

A：インフレでもデフレでもすべての人が影響を受けている。デフレの方が経済全体でマイナスは大きい。

3 時間目 エコノミストと作る＜地理と経済の融合教材の開発＞

大阪では、新しい教材での問題提起を行いました。

河原和之先生の問題提起は以下のような話をされました。

はじめに

東大阪で実践をやってきました。やんちゃな子達に寝かせない、エスケープさせない、私語させない、騒がせないの「四観点」を目指してきました。中学では教材研究をする時間がありません。だから、隙間を使って本を読み、定時に帰って本を読み、とにかく教材研究をしてきました。

この教室の歴史シリーズに刺激されて、歴史を経済で読み解くこともはじめています。また、最近は大学で、学生からの要望で「部落史」を教えることが多く好評です。明治図書から本も出しました。読まれているようです。向山、有田を越えたかな？

1 教材作り

本論です。これまで加藤先生たちと「インド」「ブラジル」を作り、「マレーシア」を作成中です。

なぜこのような教材を作ったのか？それは、グローバル化の現実から総合的な視点で教えることが必要であると考えたからです。グローバル化というと、教師のなかには企業に対するアレルギーが強い人が多いようです。特に大阪ではそれが強いように思います。でもそれでいいのか？東大阪での 10 カ国の労働者を雇う企業もあります。これなぞヒトのグローバル化です。投資という観点からの学習も必要です。

2 その実際

先日、埼玉川口市の仲町中学でのインドの授業をやりました。その様子に触れながら、教材の内容を紹介します。

最初に歌を歌い、生徒の関心をひきつけます。

次は二択クイズです。クイズといっても、生徒は雑学はきらいます。いったことと内容とがリンクしなければ子供はダメなんです。

その点、マクドナルドはいい教材です。マクド一つとっても世界の様子がわかります。ネタの宝庫です。教材では、インドのマックからヒンズー教を教えるようにしています。また、グローバル化では、インドの位置も重要になります。インドは東経 75 度。では西経 75 度はどこという問いから、情報産業の重要性がわかります。位置を経済的側面で考えると面白いのです。

写真はインドで暮らす人々の様子です。ここから、格差を実感することができます。

ここまでが習得型授業です。ここからが活用に移ります。テーマは、インドに自動車会社をつくらうです。

そこでは、日系企業はインドのどこが問題かを考えさせます。知識を与えて興味を深める、それだけでなく活用型に移行することが大事です。

仲町中学の生徒の感想を紹介します。「思ったことを自由にいえただけで面白かった」「みんなで考えることが面白かった」。これが大事です。

ブラジル教材の簡単な紹介も、しておきます。

歌、クイズ、写真を読ませる、表やグラフを読ませる（大阪ではこれは課題だったがやっぱりグラフを読ませたい）などがこの教材の内容です。

3 新しい教材の特色

興味関心、知的興奮のある授業が必要です。

国づくりの経済政策では、シンガポールのケース、ブルネイのケースなどが使えます。活用型授業は多様な方法で可能です。その例として、さきにあげたインドでどんな会社をつくるか？インドのどこに自動車会社をつくるか？をあげておきます。

ほかには、マンデラさんに手紙を書こう、ブラジルの最終ランナーはだれだろう、アフリカで次の商品は有効か？めがね、薬品、カップめんは？などなどたくさんあります。

4 おわりに

融合教材の必要性が高まっています。多面的に見る教材が必要です。歴史と経済の融合教材も今開発中です。なかでも、経済政策が政権維持に重要だとわかります。歴史理解のキーワードは経済です。でも、さしあたりは地理と経済の融合が第一だし、やりやすいと

考えています。

加藤一誠先生のコメント（配付資料なし）

1 新しい教材開発のねらい

そもそもの発端とメンバーを紹介しておきます。河原先生からアイデアを出してもらい、それを専門家の間でもんで教材化しています。

地理で教えている経済の内容は多いのに、それを自覚して教えていないのではないか。例えば、そもそもわが国は資源がないのに工業国になれたか？という問いなどがそれです。

安くてよい原料を船で輸入、沿岸部にコンビナート、製品を船で輸出する。つまり、その背景に、道路と鉄道と水（コストが違う、船は長距離に強い）があります。

身近な事例では、関空の夜行便は何が運ばれてくるかご存知ですか？答えは、生鮮食料品です、それをトラックで築地に輸送しているのです。これも交通のコストの問題になります。同種の例では、小松からの夕方便です。これは北陸新幹線ができると危機になると言われています。人と食料品（カニなど）を運んで儲かっていたんです。さらに、掘り込み式の港がなぜ重要か？という問いも同じです。写真は、鹿島港のケースです。港には水深が必要です。大きなタンカーがきたりコンテナ船が接岸できることが重要です。つまり、規模の経済です。輸送費が安ければ原材料も安い、製品も安くなるわけです。

2 規模の経済と教材

少し横にそれますが、規模の経済について少し触れておきます。

市町村合併の例です。なぜ大量生産がいい？ときくと「規模の経済」と反射的にいうことが多いですね。沢山作ると単価が下がる。なんで？割り算するとたしかにそうなります。では、市町村合併と寡占の共通点はなんでしょう。そうです。規模の経済です。

教科書でも、市町村合併を扱っています。東書の教科書には市町村合併は効率性を高めるとあります。これって、即席めん、薄型テレビ、乗用車などと同じではないでしょうか。東書に対して、日文は比較的短所強調型です。教科書によって違いがあるんですね。

ここで質問です。生徒に聞きます。起業する職業で選ぶ職業は？答えは、たこ焼きや、こじやれた雑貨店などです。発電所、鉄道会社、車の会社は出てこない。なぜでしょうか？固定費がかかるからです。これを市町村合併に応用すると、市町村でも規模の経済が必要であることは事実なんです。こんなかたちで経済の考え方を応用できます。

河原先生のコメント

1 加藤先生のコメントを聞いて、感情論とデータを押さえた議論の両方が必要と感じました。特に、中学生は感情論に走りがちですが、資料活用の力をしっかりつけることは課題と感じています。

2 市町村合併は私も扱っています。全国で一番大きな市は？とか、市の面積が小さな都道府県はどこ？などです。市町村合併の適正規模も調べてみました。ポイントは学校の規模ですね。中学校でいえば400人くらいが一番いい。

4 時間目 みんなではなそう

最初に、猪瀬武則先生（日本体育大学）からコメントをいただきました。

経済教育に関する言葉の問題を聞きたい。

功利主義という言葉は？利己的・打算的に振舞う考え方のこと？それとも、最大多数の最大幸福のこと？

モラルハザードという言葉は？ 保険に入ってしまうから無茶なことをしてしまうこと？ 金融機関などが利益追求に走って倫理的に反する行為？

以下、格差とは？

経済では効率とは？

このような、日常的な言葉と経済学の言葉のギャップをいかにうめてゆくか、が問題。先生方の日頃の実践の中で、そのようなギャップや困難などを提示してもらい、話を深められるとよいのでは。

問題提起をうけ、6 グループに分け、升野、栗原、野間、加藤、河原、新井が参加して話し合いや交流を行いました。

8月8日（金）第二日 高校の先生対象

暑い日になる。89名の先生方の参加で、高校の先生向けの二日目のプログラムが行われました。

1 時間目 榊原宏司「学校教科書で教える＜M&A＞」

基本的な内容は、名古屋会場のものをベースとしているので、そちらをご覧ください。

質疑

1 独禁法とM&Aとの関係は？

A：詳しくはわからないので、調べてアップする。

2 阪急と阪神の統合から、会社って何かとか、企業の社会的責任などを生徒は感じているがどうなのか？

A：M&Aは企業価値を上げることがポイントで大きな流れになっている。例えばVWはいまやトヨタを抜こうとしているが、これはM&Aの効果だ。

3 M&A対策として個人株主を大切にしなければいけないのではと思うが、企業は取り組んでいるのか？

A：考えている。個人投資家には長期保有をして企業のファンになってほしいと考えている。

2 時間目 野間敏克先生「歴史分野を経済で読み解く<ニクソンショック>」

基本的な内容は名古屋会場のものをベースとしているので、そちらをご覧ください。

質疑

1 トリフィンのディレンマが重要だと思うが、ドルが基軸通貨であることが矛盾じゃないか？また、いずれドルは暴落すると思うがどうか？

A：流動性ディレンマに関してはその通り。ドルの暴落はわからない。

2 ケインズのバンコールについて簡単に説明してもらえないか？

A：大田英明『IMF』中公新書、という本の第二章にふれてあるので、参照してもらえるとよい。

3 変動相場制より固定相場の方がよいように思えるのだがそれでいいのか？

A：すべて両側面がある。しかし、固定相場では価格が形成されないなので、それは問題となる。

3 時間目 小巻泰之先生「新しい国際収支表から経済の流れを読む」

講義は、名古屋でのものをベースとしてすすめられたが、名古屋での質疑なども踏まえて何点か修正をされています。以下、そのメモです。

0 はじめに

世界の動きに合わせたが、現実を理解するにはマイナスになってしまった。

でも、教科書は変わるので理解しておかなければならなくなった。

では、どう理解するか。

私は、経常収支を経済のバランスから教えておいて欲しいと思う。(I=Sバランス)

でも高校の現場の教え方としては、複式簿記を教えていないので、暗記項目にならざるを得ない。

経常収支－金融収支＝0

これまで、経常収支＋金融収支＝0

ただでさえ暗記項目になるような気がする。

1 国際収支の統計の改定により理解しづらくなった

財務省や日銀の解説は以下のとおり。

貿易は、国産品の相当分の外貨が増えた、これは資金流出と考える。

単純な名称変更のケース：所得収支、経常移転収支と場合→第一次所得、第二次所得

2 実際に作成してみよう

なかなか理解できない、その解決は国際収支表を実際に作ってみればよい。

しかし、複式簿記をままたんでいない場合は、次のように考えればよい。

自動車輸出で 500 (モノ) 経常収支

↓

外貨 500 相当分 (カネ)

↓

国内預金 500 が増える 資産増加、待機資金 ここが金融収支
これで理解すればよい。

3 経常収支の赤字は悪いことか

赤字＝悪ということは間違い

なぜ海外でうらなければいけないのかという問いをたててみればこれが間違いであることがわかる。

輸出をすることは国内の消費をしていないことなのだ。

日本人は収入の 55%しか消費していない 使う余地がない、もしくは使っていないことを意味している。

一企業での黒字、赤字とは一国の黒字、赤字とは違う。

輸出するということは海外で買ってくれることになる。

$(輸出 - 輸入) = (貯蓄 - 投資) + (租税 - 政府支出)$

経常収支 = 貯蓄投資バランス + 財政

貿易収支の黒字は、私たちの幸せと通じることではない。

所得 = 使う + ためる + 税金

三面等価を理解すれば、この間違いが分かるであろう

4 為替レートの決まり方の単純な例

購買力平価説で説明することが単純でよいのではないか

経常収支が黒字だと円高になる (なぜかは p p)

理屈はそうだけれど、現実には為替レートの説明の説得力は低い

余談：日本国債がデフォルトを起こすと円安、少子高齢化では円安

予測はできないが、原理を説明することはできる

5 国際収支表をみて日本経済の構造を考える

ジェトロの統計が使える

そこからは通説がちがっていることが分かる (例：エネルギーの輸入、原発以前から相当の比率があった。何年も前から上昇。背景は新興国の輸入が影響した。原発が原因ではない。)

6 三面等価と経常収支

教科書の記述の分かりにくさ

本当は、生産されたものは全て消費されるはずという前提で考えればよい。

生産付加価値 = 産出額 - 原材料

支出国民所得 = 消費 + 投資 + 政府支出 + 輸出 - 輸入

分配国民所得 = 所得の処分 (消費 + 貯蓄 + 租税と考えて欲しい、つまり使う + ためる + 税金)

マクロレベルではミクロレベルの比較優位などは考えなくともよい、マクロバランス論に注目して欲しい

作ったものが消費される。国内で消費されないものが輸出されると考えるとよい。

7 大学入試問題のサンプル

8 補足 (本論とは関係なく)

消費税の軽減税率の問題 財務省のHP

その他の補足

質疑

1 赤字、黒字という表現を変える必要があると思うが？

A：そう思う。でも、慣習は変えられない。黒字は **surplus** の訳語。

2 為替レートの変動による国際収支の構造変化は弱いと聞いたが、生徒は為替レートの変動に敏感で、そう簡単に認識できないが？

A：両側面から見てゆく必要がある。たしかに、為替レートによって輸入品価格は変わる、しかし構造的には無理。マクロ的にはマクロバランスのほうが大事。

4 時間目 中川雅之先生「法と経済学からみた社会保障」

講義内容は、名古屋会場でのものをベースにしているので、それをご覧ください。

質疑

1 世代間格差を成功させた例はあるのか？

A：ある。スウェーデンの例がそれにあたる。

以上、大阪での二日を無事に終了した。(記録・文責 新井)